

2024年10月17日
西日本旅客鉄道株式会社

防刃傘の開発と車両搭載について

お客様がより安心して鉄道をご利用頂くために、車内に防刃手袋等の防犯グッズを整備してきました。更なる安全性の向上を目的に、鉄道車内での使用に適した防刃傘を開発しましたので、順次車両に搭載いたします。

1. 防刃傘のねらい

防刃傘を活用し、刃物を振り回す犯人と対峙している間に、お客様を別の車両に避難させる。避難できる時間を捻出する。

2. 防刃傘の主な特徴

○切れにくい生地

(傘の生地は刃物で切れにくい特殊な布を使用)

○高い強度

(一般的な傘に比べフレームの本数を増・柄を極太化)

○長い柄

(刃物を所持している人物と一定の距離を確保)

○軽い

(アクリルの盾に比べて軽く、非力な方でも扱いやすい)



3. 搭載車両

近畿圏内走行車両に搭載予定。



今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に11番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

